

2021.11.3 日本国憲法公布 75 周年記念「2021 ぎふ平和のつどい」

<報告と感想>

日時：11月3日（祝）13：30～16：00

当日の岐阜市民会館・大ホールはコロナ対策で市松模様の座席とは言え一階も二階も満席で、参加者は約 700 人とのことでした。

開会は 85 歳の平方浩介さんの「平和憲法を守ろう」の“力強い拳あげ”ではじまりました。

<第一部> 崔・善愛（チェ・ソンエ）さんのピアノとトーク「平和と人権を求めて」

<第二部> 講演：講師：金平茂紀さん（「報道特集」キャスター）

演題：「利己の競争社会から利他の共生社会へ～テレビ報道の現場から」

☆ 金平氏の話は衆議院選挙直後という事もあり、講演内容を変更し、今回の衆院選について、冒頭「今回の衆議院選挙は何だったのかを考えた」と述べ、「私はまだ現役の記者をやっているの、取材をしていて、マスメディアの役割が劣化したと痛感した。それは、衆議院選挙よりも自民党総裁選の方を多く、長く報道していたことを「おかしい」と指摘するメディアの関係者がいなかったことだ。僕らの仕事っていうのは（自分たちの利益のために働いているのではなくて、視聴者や有権者や読者のためにある）というふうに僕は思っているの、そういう意味で、メディアが自分たちの役割をきちんと果たさなかったことが、総選挙の結果に影響しているのではないかと危惧している……とメディアを強く批判していた。

▲上野芙美さんの感想▼

第一部のチェ・ソンエさんの

ピアノの演奏はショパンの聴き慣れた曲など力強い演奏で感動させられました。彼女は在日三世でも日本国籍がないため選挙権も無いと言いますが「人生は自由のために」「心の炎を燃やし続けよう」「楽器のように日常に憲法を使おう」などのトークにすごく魅了され、感動しました。第二部の金平茂紀さんの講演では一昨日開票された衆議院選挙の話で自民党議席減にもかかわらず自公政権継続！こんな結果が出るとは予想しなかった。二年間ものコロナ禍で国民が疲弊してしまっただけで現状維持と「保守的」になったのかなあ？と金平さん ★選挙後のメディアは「野党共闘」を失敗と強調したが、野党共闘がなかったらもっとひどい結果になったろう！との金平さんの意見にも、演題の「利己から利他」にも、すごく共感できた。

★投票日に八口ウインに行っていた若者の七割が投票に行かなかったという事に愕然とした ★選挙演説では格差や原発など本当に大事なことが語られず給付金だけを話題にしていた。

★最近ではテレビも新聞も見ず携帯のみで知りたい情報を得るというコミュニケーションが増えている。とにかく情報は圧縮され瞬時に拡散するので、論理的な考え方ができなくなっている。マスメディアの本来の役割は「国民の知る権利に伝える」「今、優先的に考える事柄を伝える」「少数者の意見を伝える」こと等と思う。★学校でも主権者教育ができていないのかなあ？・こんな日本に未来はあるのだろうか？

★講演の最後に質問タイムがあり、年輩者が多い会場の中で若い女性が「自分にできることはあるだろうか」と勇気を出して発言する姿はスエーデンのグレートンベリーさんを思い起こさせました。

<井深百合子さんの夢>

日々の出来事で落ち込むこともあるけれど、平和と人権が大切にされる「現行憲法」のもとで生きてきた社会をあきらめることはできない。平和はもろく、戦争の誘いが増えつつあり、油断できない。

私の夢は「全ての生き物と人間一人ひとりが大切にされる国」の存続なのです。

<井口さんの感想>

11月3日（文化の日）は5月3日（憲法記念日）と共に憲法を考える日だ。現行憲法のもと（75年）日本は一度も戦争をしていない。これは昨今の国際情勢から考えると素晴らしいことで日本の誇りだ。現行憲法があるからこそ、なんとか平和な日本があるのだと確信している。この機会に平和主義をはじめとした日本国憲法の特徴を読み直し、憲法を大事にする風潮を育んでいきたい。